



9月3日(火) FBCの地方審査！！審査員を前に堂々発表

〇年 福祉委員長 〇〇さん 学校の代表として、福祉委員会の歩みを堂々と語ってくれました。いくつかの質問にも自分の言葉でしっかりと受け答えができました。

「ぼくの挑戦」

福祉委員長 〇〇

去年、福祉委員の子ががんばって作った花だんは「農林水産大臣賞」に輝きました。どの花もすごくきれいで、加茂野小学校がいっぺんにはなやかになったと思いました。そして、自分も去年に負けなくらいの花だんを作ってみたいと思いました。僕は福祉委員長になりました。「心を込めて世話をすれば、きっときれいな花が咲く」そんな気持ちをもって、福祉委員の子たちと花を育てることになりました。

まず初めに、種を植えました。一つ一つの種をトレイに入れていくのがとても大変でしたが、やっているうちに楽しくなってきました。水やりをしていると、緑色の小さな芽が出てきてうれしくなりました。少し大きくなって、ポットに植え替えをしました。根が切れないようピンセットをぐっと奥までさし、指で穴をあけて真ん中にうまく入れました。20分休みや昼休みを使っても足りないくらいで、友達も誘って作業を続けました。ポットに植え替えると急に成長が早くなりました。水やりは、当番表を使い、委員会の時間に水やりをしているかの確認をして、花がかれないようにていねいに水やりをしました。途中で、肥料が強すぎたのか、200株以上が急に枯れてしまったときにはとても悲しかったです。7月14日には加茂野で軽トラ市がありました。僕は用事で行けませんでした。代表の子8人が行き、ぼくたちの育てた花、200株を地域の人にプレゼントすることができました。7月18日には、育てた花を花だんに植えました。デザイン通りに花が育つといいなあと思いました。

夏休み中にぼくは、学校に行き、副委員長と一緒にピンチをしました。先生からは、くきの途中を切ると、わきから芽がでてきて、たくさんの花が咲くと聞きました。「たくさん咲いてくれよ」と思いながら一つ一つていねいにはさみで切っていました。夏休み中に、花をプレゼントした人から写真を送っていただきました。ぼくたちの育てた苗がその人に大事に育てられていてとてもうれしくなりました。

夏休みは先生たちに世話をいただきましたが、学校が始まり、花壇を見て見ると、夏休み前よりすごく立派に咲いていてとてもびっくりしました。自分でも思っていたより成長していてとてもうれしかったです。

花壇のデザインが、「加茂野小学校がとても元気でにぎやかな学校」を表していますが、花壇の花も元気で、いろんな花が混ざってにぎやかな感じがします。これからたくさんのお花を咲かせて、周りからも明るく元気な学校だと思ってもらえるような加茂野小学校にしていきたいです。